

福剣連

第

84

号

居合道だより



～目次～

はじめに

主な出来事

7・8月の予定

その他

はじめに

この時期はいつも身体がだるい。 近頃は6月病という言葉まで聞かれるようになった。梅雨時の重い空気のせいかな。しかし悪いことばかりではない。小雨にしっとり濡れた色とりどりのアジサイの花は何とも言えぬ風情がある。

筆者の家のすぐ近くに伊都国の王墓、平原遺跡がある。銅鏡、剣、勾玉、いわゆる三種の神器が出土した。特に銅鏡は40面で弥生時代としては日本一の数。そのうち国内最大の直径46、5センチの内向花文鏡5面は国宝に指定されている。

その文様と大きさから八咫鏡（伊勢神宮の秘蔵品）ではとの説もある。

副葬品に武器は少なくネックレスやブレスレット、イヤリング等の装飾品が多く、葬られた人物は女王ではないかと言われている。50年ほど前、発見当時は我が家が事務所代わりになっていて、発掘された鏡や勾玉が庭に広げて並べられていた。

毎年7月になると近隣の住民が協力し合って遺跡のまわりの畑にコスモスの種を蒔き、秋の王墓祭りに花を添える。しかしコスモスの季節以外はあまりにも殺風景なので、畑の畦にアジサイを植えることをひそかに思っている

小雨の中、ひとり紫煙をくゆらせて七色の紫陽花を眺めながら、弥生人の素朴な生活に思いをはせる。悠久の時間がゆっくりと流れていく。当然そこにはPM2.5なんぞの問題は無い。と、まあ、捕らぬ狸の皮算用ならぬ植えぬアジサイの花算用だが、今年から2、30本ずつくらい挿し木をするつもりでいる。庭仕事などしたことのない素人のやることだから果たしてどれだけの歩留まりで根を張ってくれることやら。

郷土自慢はこれくらいにして、今年度も居合道初心者体験教室を9月に開催の予定で今月から募集する。

昨年度は21名の参加があり、約15名が今秋の審査会で初段に挑戦出来るまでになってくれた。失礼な話だが歩留まりとしては上々だと思っている。

居合道に楽しみを見つけ、よくぞ続けてくれたと本当に嬉しい限りである。彼らがしっかりと根を張って、そのうち七色の大輪の花を咲かせてくれる日が来ることを楽しみに、このうっとうしい時期を乗り切っていこうかな。



主な出来事

6月9日 県居合道講習会・級審査会

アクション福岡



6月16日 第四十六回福岡県居合道大会

福岡武道館



6月16日 第四十六回福岡県居合道大会 順位表

	第一位	第二位	第三位	第三位
七段の部	世利慎吾 (粕屋同)	馬場清治 (飯塚)	和泉修二 (正修館)	堤正紀 (福岡武)
六段の部	津村久美 (若松同)	古館博 (千代剣)	中島浩 (田川同)	安河内政光 (福岡武)
五段の部	井手烈太郎 (錬心館)	末次輝 (武揚館)	廣房憲治 (錬心館)	荒木正亨 (福岡武)
四段の部	金城和枝 (倫武会)	岡野信之 (錬心館)	早野豊明 (尚武会)	岩坂浩司 (福岡武)
三段の部	村上佳隆 (正修館)	アルノー・マカドレ (錬心館)	安本誠一 (千代剣)	江藤知徳 (千代剣)
二段の部	沼浩司 (北九同)	岩永奎太郎 (北九同)	毛利元昭 (田川同)	友納有紀 (錬心館)
初段の部	古賀京子 (明德館)	甲斐田裕文 (千代剣)	岩川碧 (九国大)	大槻かおり (福岡武)
無段の部	白垣聖宣 (錬心館)	中村竜太 (八女同)	鹿田渚 (八女同)	金山美由紀 (錬心館)
少年の部	村瀬志依奈 (千代剣)	村瀬倭加奈 (千代剣)	石井翔 (錬心館)	西田桃 (無心館)

7、8月の予定

7月12日	居合道6・7段審査会	山口県周南市
7月13日～14日	平成25年度居合道地区講習会	山口県周南市
8月4日	県居合道稽古会	福岡武道館

その他

平成27年度の全日本居合道大会主管に向けて、実行委員会並びに選手強化委員会を立ち上げました。

県居合道大会5～7段の部上位入賞者と執行部推薦若干名による全日本居合道大会選手候補強化稽古会を今月下旬より行います。

監督 小田信秋先生 副監督 吉田初喜先生 コーチ 國方孝之先生。



公益社団法人 福岡県剣道連盟
福岡県剣道連盟居合道部